

サブドレン他水処理施設の運用状況等

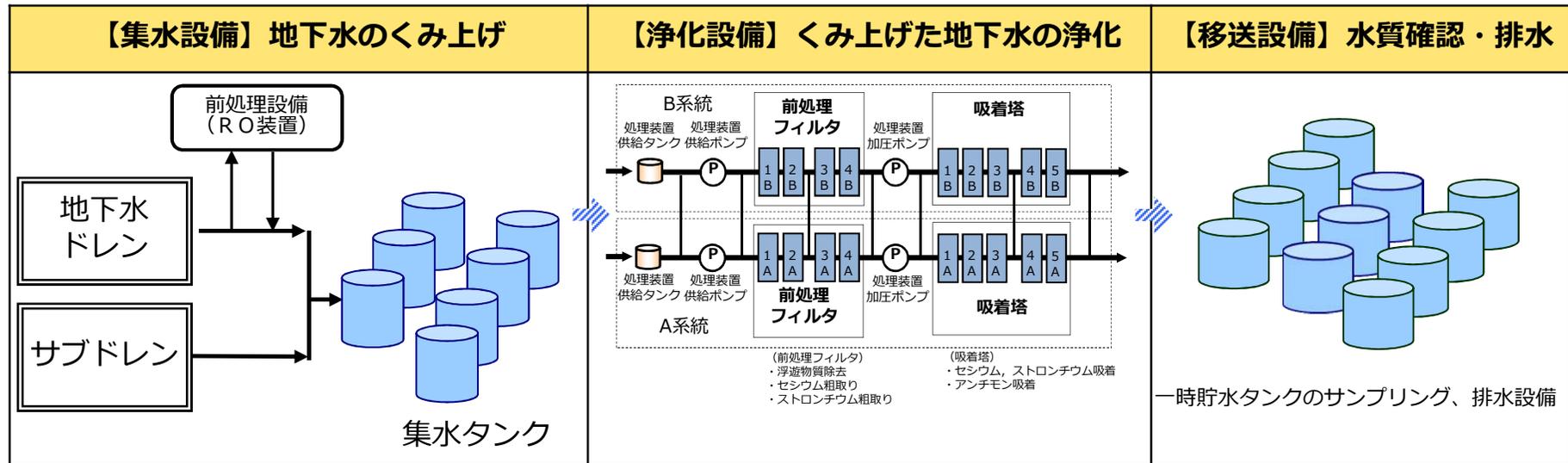
2020年12月24日



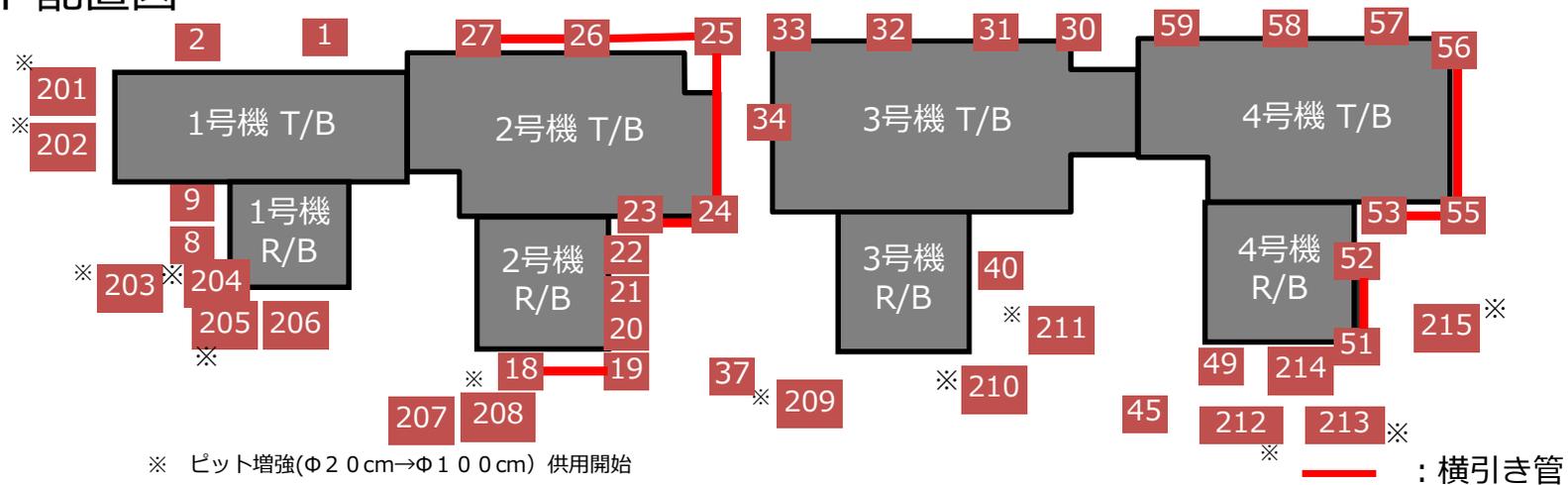
東京電力ホールディングス株式会社

1-1. サブドレン他水処理施設の概要

・設備構成

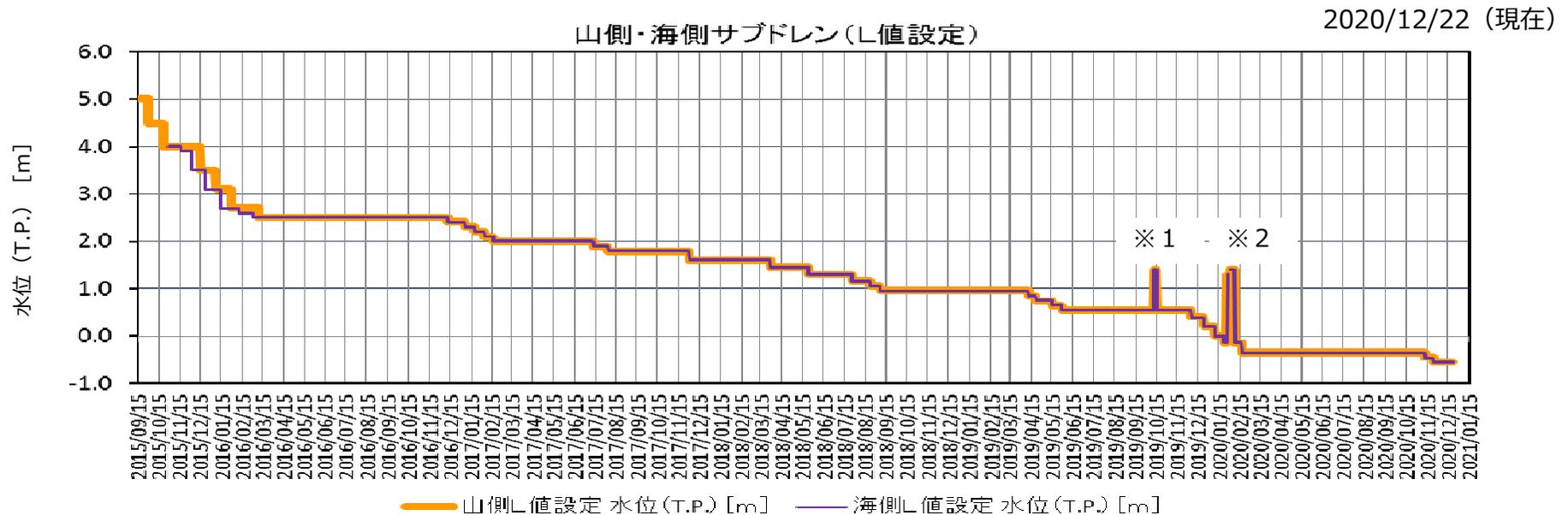


・ピット配置図



1-2. サブドレンの運転状況（24時間運転）

- サブドレンピットNo.30,37,57を復旧し、2018年12月26日より運転開始。No.49ピットは復旧後、2020年10月9日より運転開始。
- 山側サブドレン設定水位のL値をT.P.+5,064mmから稼働し、段階的にL値の低下を実施。
実施期間：2015年9月17日～、L値設定：2020年11月24日～T.P.-550mmで稼働中。
- 海側サブドレンL値をT.P.+4,064mmから稼働し、段階的にL値の低下を実施。
実施期間：2015年10月30日～、L値設定：2020年11月24日～T.P.-550mmで稼働中。
- サブドレン集水設備No.4中継タンク内の油分確認により、No.4中継サブドレンピットは現在停止中
 - ・ 11/26 No.4中継タンクの水位計異常に伴い、No.4中継サブドレンピットを停止
 - ・ 12/1 水位計を交換後、No.4中継サブドレンピットの運転を再開
 - ・ 12/2 No.4中継タンク内に油分が確認されたため、No.4中継サブドレンピットを停止
- 1/2号機排気筒周辺サブドレン
 - ・ 1/2号排気筒周辺SDに関して、2018年3月ごろにトリチウム濃度の上昇が確認された。
 - ・ トリチウムの移流・拡散抑制対策として、周辺に地盤改良工事を実施し、2019年2月までに完了した。
 - ・ それ以降、水質を確認しながら周辺SDについて稼働を再開し、現時点で周辺同等の設定水位で汲み上げが継続できている。
 - ・ 地盤改良の内側になるピット206,207については、水質に大きな変動がないことから、2020年11月24日に周辺ピットと同様にL値をT.P.-550mmに変更した。



※1 台風19号対応として10月12～15日の間、一時的に全ピットのL値をT.P.1400mmに変更した。

※2 1月の大雨に備えて基本のL値をT.P.1300mmとし、2月7日に水位設定値を元に戻した（L値:T.P.-0.15mm）

1-4. 至近の排水実績

- サブドレン他水処理設備においては、2015年9月14日に排水を開始し、2020年12月21日までに1,460回目の排水を完了。
- 一時貯水タンクの水質はいずれも運用目標（Cs134=1, Cs137=1, 全β=3, H3=1,500(Bq/L)）を満足している。

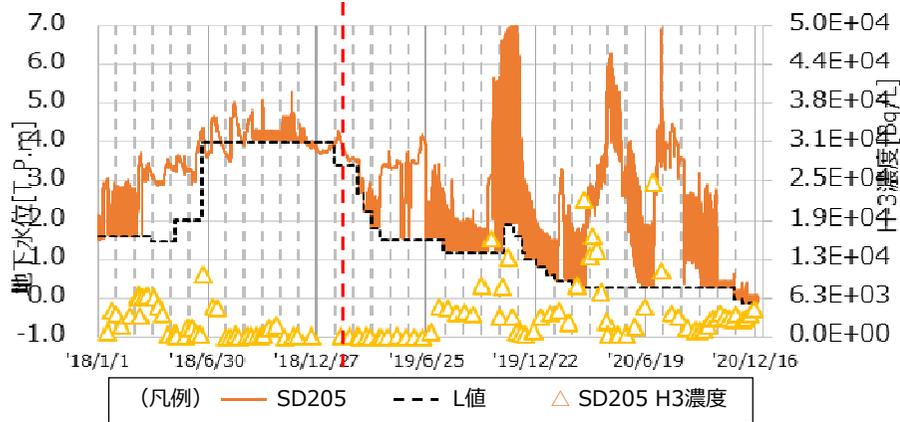
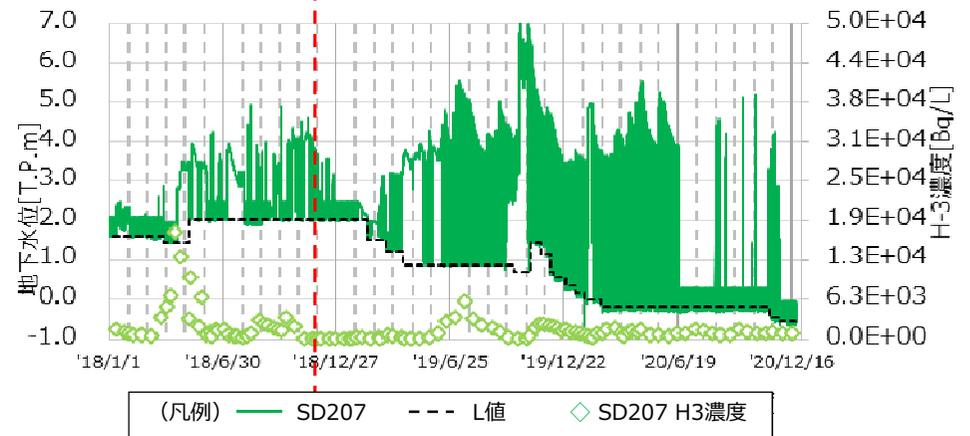
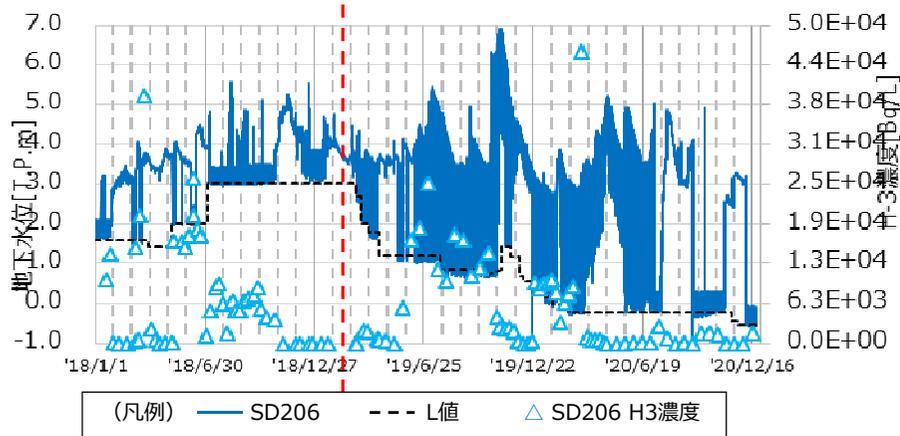
排水日		12/7	12/8	12/12	12/14	12/20
一時貯水タンクNo.		C	F	H	A	L
浄化後の水質 (Bq/L)	試料採取日	12/2	12/3	12/7	12/9	12/15
	Cs-134	ND(0.78)	ND(0.61)	ND(0.70)	ND(0.67)	ND(0.68)
	Cs-137	ND(0.54)	ND(0.62)	ND(0.73)	ND(0.83)	ND(0.54)
	全β	ND(1.7)	ND(2.1)	ND(1.6)	ND(0.65)	ND(1.8)
	H-3	920	960	760	810	900
排水量 (m ³)		290	265	695	756	670
浄化前の水質 (Bq/L)	試料採取日	11/30	12/1	12/5	12/7	12/13
	Cs-134	ND(5.6)	ND(5.3)	ND(4.5)	ND(4.5)	ND(5.3)
	Cs-137	57	45	31	33	46
	全β	410	—	—	250	—
	H-3	1100	1100	800	840	1000

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

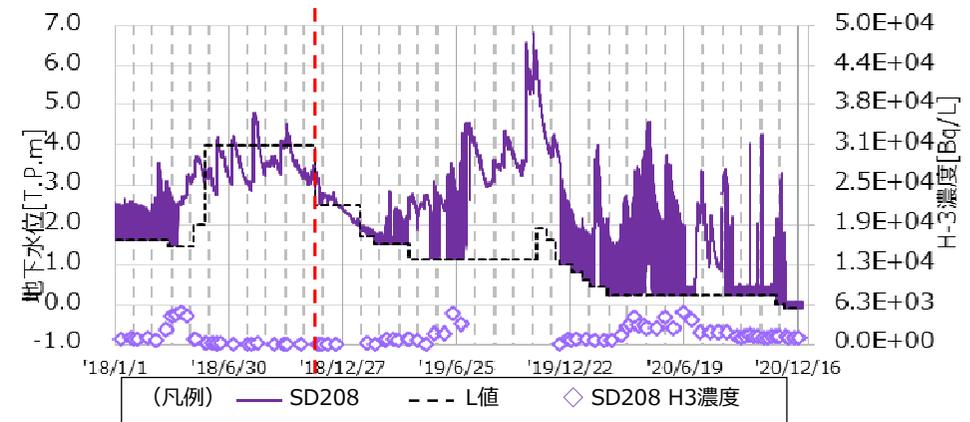
* 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて実施。

* 浄化前水質における全ベータ分析については、浄化設備の浄化性能把握のため週一回サンプリングを実施。

【参考】 1/2号機排気筒周辺サブドレンピットの水質



2019/2/6地改良完了



2018/11/6地盤改良完了